

市内のできごとを写真入りでお知らせします

# まちのできごと

## 我孫子高校ソフトテニス部男子個人戦県制覇 全国高等学校総合体育大会 (インターハイ) 出場



▲優勝旗と賞状を手に笑顔

6月に行われた千葉県高等学校総合体育大会ソフトテニス大会で、我孫子高校の飯箸浩一さん・山口亮二さんペアが個人戦で優勝し、全国大会への出場を決めました。県大会優勝は、同校ソフトテニス部創部以来初の快挙でした。7月末に佐賀県で開催された全国総合体育大会では、3回戦まで進みました。

## ちばDC我孫子市地域実行委員会に特別功労賞 全市を挙げて事業に取り組んだことが評価され

ちばDC市地域実行委員会は、7月19日に開催された県のちばDCの報告会で、市民や商業者、運輸業者などさまざまな分野の方々が協力して観光事業に取り組んだことが千葉県から評価され、特別功労賞を受賞しました。同委員会は、DC期間中(平成19年2月~4月)、「あびこがおもしろい!」をキャッチフレーズに7つの企画を実施し、期間中は約2万1000人が市内の各施設などを訪れました。



▲県知事から特別功労賞を受賞

## ロシアのダンスが華を添える けやきプラザ1周年祭



▲鮮やかな衣装と軽やかなダンスを披露

8月3・4・5日、けやきプラザ開館1周年を記念したイベントがけやきプラザなどで行われました。同プラザは、市民活動や福祉、コミュニティ、文化活動などの拠点施設として昨年8月にオープン。1年間で約25万人が訪れました。当日は、大人も子どもも楽しめるさまざまなイベントが行われ、オープニングでは、ロシアダンス(写真)などが行われ祭りに華を添えました。



張勇/チョウ・ユウ  
5歳から二胡の英才教育を受ける。二胡の第一人者・王国潼に師事し、二胡ソロ奏者として中国内外で演奏活動を展開。1994年来日。ダイナミックでかつ、繊細な表現力と卓越した演奏技術に定評がある。

**奈 オーブン講演会**  
**「二胡を通して中国と日本」**  
悠久の調べへ 二胡の故郷に想いをはせて

**一胡演奏**  
日時 9月9日(日)午後1時30分  
から3時(1時開場)  
場所 アビスタホール  
出演 張 勇さん(写真)、張 勇二胡研究会のみなさん(合奏)  
定員 先着120人  
参加券 500円  
参加券販売所 あびこ楽校協議会

会事務局(アビスタ2階事務室 内生涯学習担当)  
**ストリート展示**  
期間 9月1日(土)から30日(日)  
場所 アビスタ1階ストリート  
内容 中国の絵画と写真展(入れ替えあり)  
提供 CCTV中国中央電視台 東京支局 朝鴻さん(水墨画)



▲朝鴻さんの水墨画

**ビデオ鑑賞**  
日時 9月30日(日)午後1時から  
3時  
場所 アビスタミニホール  
内容 「今の中国」CCTV制作プロデューサー孫岩さんから  
定員・費用 先着50人、無料  
主催 あびこ楽校協議会  
図 あびこ楽校協議会事務局 ☎ 7182・0622

## 奈 第3回あびこ自然観察隊 鳴く虫を聞こう!



手賀沼遊歩道で鳴く虫を観察し、その虫の音に耳をかたむけてみましょう。やさしい自然解説もあり、調べ学習や自由研究にも役立つ観察会です。

日時 8月25日(土)午後6時から8時ごろ、午後5時までに鳥の博物館2階多目的ホールに集合  
講師 鳥の博物館市民スタッフ、鳥博友の会ボランティア  
定員 30人(小学生は保護者同伴)  
参加費 無料  
持ち物 懐中電灯、筆記用具、必要な人は虫よけ  
※雨天の場合はホールで鳴く虫のお話。  
申し込み・図 電話で鳥の博物館 ☎ 7185・2212へ



## あびこ植物図鑑

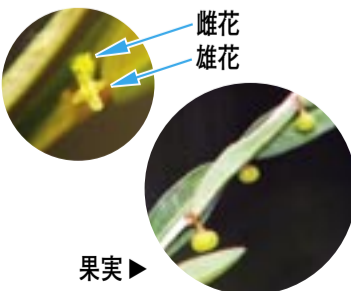
文・写真 佐久間俊行

No.240

### ヒメミカンツウ

(姫蜜柑草)

(とうだいぐさ科)



七月の頃、我孫子駅近くの駐車場でヒメミカンツウを見かけました。  
この草は小型の一年草で、草丈は30cm以下です。茎は枝分かれし、斜めに立ち上がり、あるいは地面を這うように伸びています。葉は長さが1.5cm前後で、昼間は横

に開き、夜間は茎と平行に葉を折りたたみます。また、風などの強い刺激を受けても葉をたたみます。花には雄花と雌花があり、葉のつけねに並んでつきます。雄花の径は約1mmですが、雌花はそれ以下です。花は茎の下部から順に咲き始めます。果実の径は2.5mmほどで、

ミカンに似た小さな果実が下向きに垂れ下がります。姫蜜柑草の名はこの果実の形に由来します。果実を観察していると、突然、熟した果実が小さな音をたてて破裂し、一瞬のうちに種子をはじき飛ばしました。あとは果実の柄だけが残りました。

## 俳句

染谷卓選

捕虫網毛槍のごとく登校の子 渋谷 多佳子  
【評】 理科学習で必要だったのだから、網を掲げて登校する少年の目は輝いている。月参りとして寄席にある生身魂 川上 進也  
【評】 生身魂はまた家族の健康を願う気持ちもこめられる。それには笑いが何よりだ。棚経の若き僧侶の白き足袋 野口 コウ  
誰もいない大緑蔭の白い椅子 松村 君代  
青簾さやさと揺れ京料理 町田 進  
蟬時雨ペタル緩りと踏みゆけり 中野 武  
訳も無くつめ草摘みし少年期 岡本 邦男  
用心にタオル一枚梅雨の朝 下田 繁樹

※生身魂  
盆は故人の霊の供養ばかりではなく、生きている父母や年長者を敬い、物を献上し、馳走したり、また自身で食べたりする風習がある。生御魂、生き盆とも言い、秋の季語。

## 文芸だより

皆さんからの投稿をお待ちしています。締め切りは、毎月20日必着。ハガキで1人1作に限ります。投稿された作品は、選者により添削する場合もありますのでご了承ください。  
【青少年(18歳以下)の部】へ応募する方は、必ず年齢を明記してください。  
応募先 〒270-1192 市役所広報室(住所省略可)

少年は知覧を発てり操縦桿にぎる心に万歳のこゑ 渡辺 詔子  
【評】 鹿児島県知覧には沖繩戦の特攻基地があり、千を越える若者が空に散った。十才 八月の少女 稔の田 いくさやぶれ 頭巾を空へ 千葉 フミ  
【評】 十才の少女には敗戦は終戦として受け容れられた。さらば防災頭巾よ。終戦日近づくたびによみがへる「国民学校」五年の猛暑 川上 進也  
妻は言ふ洗濯物が喜んで笑つてゐるよ梅雨晴れの朝 須田 博  
時ならぬ野分の風にさらけられて千の椋鳥ねぐらを目指す 石河 和子  
朝刊にたつた一行はるかなる母校の一勝 高校野球 渡辺 正夫  
諦めていたはずなのに区画整理は湖北北口わが実家こわす(新かな) 木村 梅  
夕映えの空の色よりややく濃きうぜんかづら枝垂りて咲く 新藤 道子